

令和2年度 一人ひとりの新たな挑戦!学校経営方針 中野区立江古田小学校

中野区立江古田小学校 松井 貴子

平成28年12月21日「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」

「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」



学校経営目標

「開校139年の伝統校として新しい時代の求める学校を創造する」

学校教育目標

人権尊重の教育を基盤とし、豊かな心とたくましく生きる力をもち、生涯にわたって学び続ける意欲と態度をもった児童を育成する。

「かんがえる子ども」【知】自分の考えをもち、すすんで実行する子

「やさしい子ども」【徳】人を思いやり、豊かなコミュニケーションにより、仲よく活動する子

「たくましい子ども」【体】命を大事にし、健康な心と体をつくる子

(1) 目指す学校の姿

『元気いっぱい、笑顔で挑戦、子ども一人ひとりがよさを発揮できる学校』

○ 挨拶が響き、笑顔と挑戦意欲があふれる学校

【挨拶・返事、小さな親切】

人権教育に基づき自分も他者も大切にできる態度を育成する。
よく考え、正しい判断のもと小さな親切を実践することで「社会の一員」としての自覚と規範意識の醸成を図る。

○ 問題解決に向けて具体策を考え、成果を意識して取り組む学校

【言葉でつながり・人とつながり・心がつながる】

「言葉の力」を身に付け自ら考え判断し行動することや、豊かなコミュニケーション能力を身に付け多様性を力とすることで、創造的に問題解決できる資質・能力を伸ばす。

○ 保護者・地域関係機関との「共育」活動を推進し、信頼される学校

【安全・安心、学び合い】

地域性を活かし、保護者・地域や関係諸機関との連携及び協働して安全教育や健康教育を推進することで、挑戦意欲と「自分の身は自分で守る」たくましさを培う。

【】のキーワードを基に、教職員一同「チーム学校」として、子どもたちのために力を尽くします。

(2) 児童数

令和2年4月6日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
男	34	49	47	30	33	33	226
女	36	41	33	34	30	30	204
計	70	90	80	64	63	63	430

(3) 1年間の主な行事

4月20日現在、緊急事態宣言発令に伴う臨時休業のため、変更中です。今後の区及び東京都、中野区の方針を受け、中野区教育委員会と連携し検討の上、お知らせします。

6年日光移動教室 8月5日～7日、5年軽井沢移動教室 8月19日～21日に変更です。

(4) 目標達成に向けた取組 その1 教育目標を達成するために

1 確かな学力

◎ 主体的に学習に取り組む態度の育成

→児童の課題意識を大切に、主体的・対話的で、深い学びの授業を実現する授業の実施

→「付けたい力」を明確にした授業改善及び学習評価の工夫

こんな授業を目指します。

- ① 1つひとつの知識がつながり、「分かった。」「おもしろい。」と思える授業
- ② 周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業
- ③ 見通しをもって粘り強く取り組む力が身に付く授業
- ④ 自分の学びを振り返り、次の学びや生活に活かす力を育む授業

◎ 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成

→言語能力の向上「言葉でつながり」「人とつながり」「心がつながる」

児童に「言葉の力」(情報を正確に理解した上で、相手の表現の意図や背景を推論し、根拠を挙げて自分の考えを述べ、話し合っって課題を解決する力)を身に付けさせることを重点に、全教科等で言語能力の向上に取り組む。

→「外国語・外国語活動」の充実により、豊かなコミュニケーション能力の素地を培う。

→質の高い個別指導及び予習型の家庭学習の推進及び自立した学習習慣の確立

→読書活動の充実や新聞等の日常的な活用により他者を理解する想像力や語彙力を身に付ける。

◎ 特別支援教育の推進

→サンサンの巡回指導の充実により、個の課題に向き合う質の高い教育を実施する。

→「はっきり、くっきり、すっきり&つながり」ユニバーサルデザインの発想を活かした学習方法の活用(視覚化・焦点化・共有化するための学習準備の工夫、みんなで学ぶ環境整備、思考ツールでノート整理、頭の整理、構造化等)

◎ 生きて働く知識・技能の定着

→自ら学習計画を立て、実践できる学習習慣の確立

自己決定力を身に付ける。

例) 本や新聞等を読む時間や縄跳び等の運動や楽器等を練習する時間、教科書等の音読や漢字・計算ドリルの使い方等習ったやり方を活かした学習時間などを自分で決め、楽しい学習計画表を作成する。

+ α (プラス アルファ) の知識を増やす楽しさを身に付ける。

例) ・辞書や図鑑、地図等で分からない言葉やもの、場所等を調べる。

・新聞やテレビ番組等から情報を得て、記録する。 ・身近なものや自然を観察し、記録する。

時間管理能力を高め、集中力を身に付ける。

例) ・時間のものさしや円グラフ等を作成し、時間を決めて取り組む。

→家庭と連携した学習課題への取組

例) ・お手伝いを話し合っで決め、毎日行う。 ・テーマを決めて、家族で話し合う。

→習熟度による少人数算数指導

→放課後補充教室のリニューアルによる個に応じたきめ細かな指導

2 豊かな心の育成

○ 自分とともに他人を大切にする態度の育成

→人権教育及び安全教育の推進

→一人ひとりに居場所のある学級集団、学習集団を形成する。

○ 学んだことを社会に生かそうとする社会の一員であるという自覚と規範意識の育成

→道徳教育を充実させ、思いやりある行動「小さな親切」を実践する。

→開校 139 年の伝統校のよさを学び、持続可能な社会の実現に向け、よりよい自分と未来を創る。

3 健やかな体の育成

○ 体力の向上

→系統性を重視した意図的・計画的な健康教育及び安全教育の推進

→体育授業の改善・充実及び体力テストを活用した日常的な体育的活動の充実

→給食指導を中心とした食育の推進、食物アレルギー等の正しい理解と対応

4 生活指導と学習規律

○ 「整理・整頓、学びにむかう姿勢」

① 笑顔で挨拶 心の窓をひらく。

② 靴をそろえて 心のゆとりをもつ。

③ 学習準備・片付けて 心の切り替え

④ 話をしっかり聞く(傾聴)。

⑤ 物を大切にする。

→家でも、学校でも繰り返し行動し、習慣を身に付けていく。

○ 「自分の身は、自分で守る」意識及び規範意識の醸成と行動実践

① 交通安全・災害安全・生活安全について学び、危機回避能力を高め、安全に生活する。

→ 「SNS ルール」等を利用し、情報モラルについての理解を深め、正しい判断をする力を身に付ける。

② 「なかよし月間」「さわやか月間」「ほんわか月間」では、いじめ未然防止と人間関係構築力に重点的に取り組む。

③ 相手や公共の場を大切にする正しい判断と親切な行動実践

④ セーフティ教室や登下校の交通安全指導による保護者地域関係者と連携した安全指導の徹底